



P R E S S R E L E A S E

「eCanter」ユーザー向け 充電器メンテナンスサービスを開始

2025年4月9日

- ・ 「FUSO グリーンリース®」を通じて提供。ミライト・ワンがメンテナンス作業を実施
- ・ 法人専用サービスとして、「eCanter」運用環境のさらなる改善に貢献
- ・ EVに不可欠な充電器の導入からメンテナンスまでをFUSO 経由でワンストップ化、EVシフトをより容易に

三菱ふそうトラック・バス株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長・CEO:カール・デッペン、以下 MFTBC)は、MFTBC の電気小型トラック「eCanter」のユーザー向けの充電器メンテナンスサービス(以下「本サービス」)を、2025年4月より開始します。本サービスは、「FUSO グリーンリース®」による「eCanter」の新規導入を対象に、全国の三菱ふそう販売店から申し込みが可能です。*

* 「FUSO グリーンリース」は、三菱ふそうトラック・バス株式会社の登録商標です。

* すでに運用いただいている「eCanter」の中途加入はできません。

本サービスは、ダイムラー・トラック・ファイナンシャルサービス・アジア株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:ハンス=ゲオルク・フォン・グンペンベーアグ)による「eCanter」専用のリース商品「FUSO グリーンリース®」の付帯サービスとして提供する、法人ユーザー専用のサービスです。株式会社ミライト・ワン(本社:東京都江東区、代表取締役社長:中山俊樹、以下「ミライト・ワン」)が、4千基を超える豊富なEV充電器施工実績による知見を活かし、高品質なメンテナンス作業を提供します。



※画像はイメージです

MFTBC は商用車メーカーとして、「eCanter」のユーザーに対し、実用的なサービス内容・料金設定の本サービスの提供により、「eCanter」の使用環境のさらなる改善に努めます。また、MFTBC が2022年より提供している「充電器・充電器設置サービス」と本サービスの組み合わせにより、お客様は充電器の導入からメンテナンスまでを FUSO を通じてワンストップで利用できるようになります。

EV トラック向け充電器は、お客様の多くが自事業所に導入する、EV トラックの導入・運用の上で重要な設備です。商用車の脱炭素化の緩やかな進展に伴い、EV トラックの充電器機種が増えている一方、充電器のメンテナンスサービスは開発途上です。EV トラック向け充電器は法人ユーザーの使用が前提となるため、充電器の使用者、使用的頻度や状況などが、パブリックユースを前提とする公共充電器などと比べて想定しやすい傾向にあります。

本サービスは、一般的な充電器メンテナンスにおける充電器の損傷のリスク、問い合わせ対応の頻度などのコスト設定において考慮すべき要素を最小限に抑え、実用的なサービス内容および料金を設定しました。故障対応は状況に応じた料金請求のため、お客様はリスクに対して余分な料金を支払うことなく、充電器の実際の使用状況に応じた、最適な料金負担で済みます。

また、普通・急速充電器ともに、故障時は原因特定から修理までをミライト・ワンが行うため、ユーザー側の作業が不要です。保守費用が安価な普通充電器では、故障時の原因特定をサービス内容に盛り込んだことで、サービスの普及と実用的な活用を目指します。

国内の EV 向け充電器をめぐっては、経済産業省が2030年までに30万口の充電設備を設置する目標を掲げています。今後、EV 向け充電設備の設置件数増加に伴い、充電器の保守点検ニーズが飛躍的に高まることが見込まれます。

本サービスは、MFTBC がお客様の EV トラックの導入・運用をサポートする包括的サービスプログラム「FUSO e モビリティソリューションズ」の一環です。MFTBC は今後も、2050年カーボンニュートラルの達成に寄与する製品・サービスの開発に努めてまいります。



「FUSO グリーンリース」のロゴ

三菱ふそうトラック・バス株式会社について

三菱ふそうトラック・バス株式会社(MFTBC)は、川崎市に本社を置く商用車メーカーです。ダイムラートラック社が89.29%、三菱グループ各社が10.71%の株式を保有しています。90年以上の歴史を持つFUSO ブランドのトラックやバス、産業用エンジンを世界約170の市場向けに開発・製造・販売しています。日本初の量産型電気小型トラック「eCanter」による電動化や、運転自動化では大型トラック「スーパーグレート」に国内商用車初の SAE レベル2相当の高度運転支援技術を実装するなど、先進技術の開発に積極的に取り組んでいます。

ダイムラー・トラック・ファイナンシャルサービス・アジア株式会社について

ダイムラー・トラック・ファイナンシャルサービス・アジア株式会社(DTFSA)は、2021年6月に設立され、同年12月にメルセデス・ベンツ・ファイナンス株式会社(MBF 社)から商用車向け金融事業を引き継ぎ、FUSO 車両を導入されるお客様に対して金融サービスを提供しています。MBF 社は旧ダイムラー社のグループ会社として、2005年から FUSO 車両のお客様に対して金融サービスを展開しており、お客様と長きにわたり関係と信頼を築き上げてきました。DTFSA 社への事業移管により商用車専業となったことで、デジタル化や SDGs(持続可能な開発目標)への取り組みが進む中、より革新的な金融商品とモビリティサービスの提供が可能になりました。DTFSA の最新製品である「FUSO グリーンリース」は、MFTBC およびパートナー各社と共に、自動車業界にとって最大の課題である電動化へのニーズの高まりに対応する、シームレスなサービスをご提供します。当社が目指すのは、お客様のサステナブルな輸送への転換という一生に一度の挑戦をサポートすることで、次の世代により良い明日をつないでいくことです。

電気小型トラック「eCanter」について

「eCanter」は、MFTBC が2017年に発売した日本初の量産型電気小型トラック(バッテリーEV トラック)です。温室効果ガスを排出せず、CO₂削減という社会課題の解決に貢献しつつ、静穏かつ低振動というEV トラックの特性により、都市内輸送・深夜早朝の輸送をより快適・低負荷で行えます。2023年3月にフルモデルチェンジして発売した新型モデルは、シャシラインアップや架装バリエーションの拡大、ニーズに合わせた航続距離の展開によって、さらに多様なニーズへの対応が可能です。日本のほか欧州31市場やオセアニア地域に加え、インドネシアや台湾といったアジア地域および中東・南米など、海外市場への新たな展開も進めています。

「FUSO e モビリティソリューションズ」について

「FUSO e モビリティソリューションズ」は、MFTBC の EV トラックの導入と運用を包括的にサポートするサービス群です。車両はもちろん、車両の運用や充電方法のコンサルティング、またお客様のビジネス全般におけるカーボンニュートラル化を推進する支援サービスなど、EV トラックを導入・運用する上で必要なモノ・コトを網羅し、お客様のビジネス含めたカーボンニュートラル化を支援します。